

成修  
平新

大正大学・福田行誠上人全集刊行会編

# 福田行誠上人全集

全5巻  
別巻2

。明治仏教界最大の高德者・新資料による全業績を新編集

『平成新修・福田行誠上人全集』刊行にあたり

福田行誠上人全集刊行会 代表

大正大学副学長 小澤 憲 珠

明治維新を境に日本には急速な近代化の波がおしよせる。西欧の文明に傾流する風潮の中で、仏教界には神仏分離、廃仏毀釈があり、僧侶にたいしては「肉食妻帯蓄髮勝手たるべし」の官令等があり、伝統的な仏教は存亡の危機をむかえる。この時期、仏教者の誰しもが仏教の行く末に不安感を抱いたのであるが、そこに僧侶としての確固とした信念と気概をもって時代の風潮を決然と正したのが福田行誠である。

福田行誠（一八〇七～一八八八）は明治の初期に、小石川伝通院の貫主、芝増上寺の法主、京都知恩院の門跡を歴任した浄土宗の高僧である。しかし、行誠上人は浄土宗という枠を越え、ときに仏教無用論や宗派無用論さえ囁かれる中で、各宗の仏教者と連携し、指導的立場で仏教界をリードしている。

浄土宗の仏法制度を改革したことは宗内でよく知られているが、決して宗我に囚われない深い学識をもっていたことに驚かされる。つねに釈尊を祖とする仏教という大極的観点から各宗の教学をとらえている。インド以来の仏教史、アヒタルマヤ、法相学等を根底に、浄土宗へ、さらには仏教界へ多くの貴重な提言をしている。

今年には行誠上人遷化して百二十年に当る。最初の『行誠上人全集』が刊行されたのは明治三十二年である。その後、同三十九年、昭和十七年、同五十二年に増補版の全集が刊行されている。今回の平成新修版は、既全集をふまえたがら、それらに含まれない多くの著作や遺品をも可能な限り蒐集して収めることにした。

行誠上人直弟子の寺、深川本誓寺、仏教大学附属図書館、大正大学附属図書館をはじめ、今では財団が管理する静岡市にある行誠上人ゆかりの「不去来庵」に残る遺作、遺品等も新たに全集に入れることができた。ご協力いただいた関係各方面に感謝を申し上げます。

『平成新修・福田行誠上人全集』の刊行は、浄土宗内にとどまらず、明治以後の近代日本の仏教の歩みを知る上で貴重な資料の提供になるであろう。

刊行の辞 福田行誠上人没後百二十年にあたり

本誓寺小住 福田 行 慈

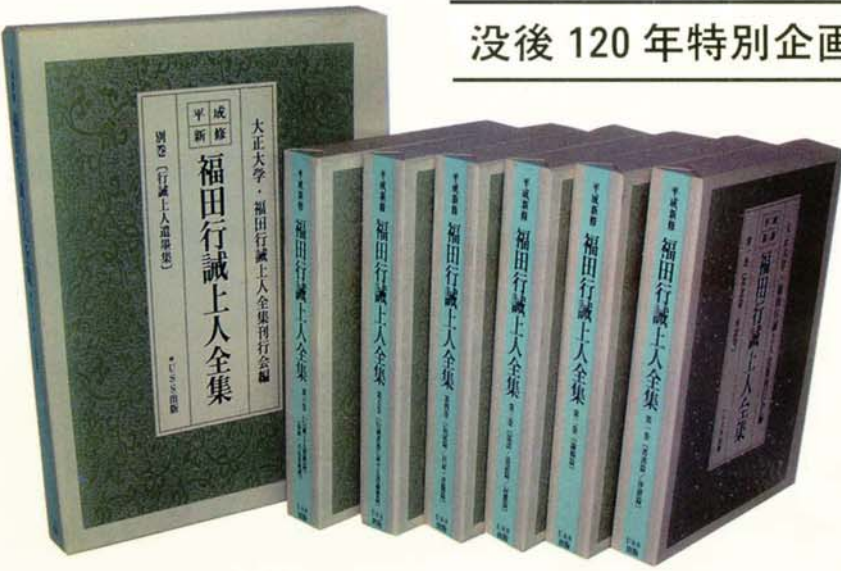
福田行誠上人は文化三年（一八〇六）に武蔵国豊島郡に生まれ、幼時小石川伝通院で修学し、慶応二年（一八六六）本所回向院住職、明治九年（一八七六）伝通院住職、さらに同十二年に増上寺住職になり、同十九年健康を害し増上寺を辞し、甥で弟子である福田循誘の住する深川本誓寺に隠居し養生しました。そして、同二十年知恩院門跡となり、翌年四月二十五日、八十三歳で遷化されました。

本年はまさに行誠上人没後百二十年にあたり、この記念すべき年に、大正大学内に「福田行誠上人全集刊行会（代表小澤憲珠副学長）が設立され、『USS出版』より『平成新修・福田行誠上人全集』が刊行されることは、まことに仏縁の賜物というほかには言葉がありません。

行誠上人の著作の多くは既刊『行誠上人全集』に所収されておりますが、改訂版の刊行からすでに三十年以上経過しており、入手も困難になりつつあります。また、『全集』に未収録の著作もかなりあることから、今回『全集』収録・未収録の著作を一つにまとめ、『平成新修・福田行誠上人全集』として新たに編集することになりました。『全集』の刊行により、行誠上人自身は勿論のこと、近代の浄土宗さらには仏教全般の研究が進展することを期待してやみません。

『全集』の刊行に当たっては、資料提供等のご協力をいただいた行誠上人ゆかりの静岡市「不去来庵」を維持する「財団法人伊豆屋伝八文化振興財団」理事長渡邊朗氏、富士宮市「大頂寺」石井真也上人、資料収集にご支援いただいた大正大学の巻田英人・有川貢両氏、さらに刊行に尽力された「USS出版」代表野口峰雄氏の皆様に、心より感謝申し上げます。

## 没後 120 年特別企画



※写真はイメージです。実物とは異なります。

# 私達が推薦いたします

坪井俊映 (総本山知恩院門跡) 成田有恒 (大本山増上寺法主) 小峰彌彦 (大正大学学長)

## 福田行誠上人全集刊行会

代表 小澤 憲 珠 (大正大学副学長)  
 福田 行 慈 (大正大学非常勤講師)  
 小此木 輝 之 (大正大学教授)  
 魚尾 孝 久 (大正大学非常勤講師)  
 柴田 泰 山 (大正大学非常勤講師)  
 石川 達 也 (大正大学総合佛敎研究所研究員)

## 資料協力

大正大学・大正大学附属図書館  
 佛敎大学附属図書館・国立国会図書館  
 静岡不去来庵・館山大巖院・富士宮大頂寺  
 深川本誓寺・東京神田寺・東京栄立院

## 本書特色

- 本書は各巻に著者の学統に連なる権威者による現代的意義について「解説」を付す。
- 本書は正字旧仮名とし、発表当時の雰囲気そのまま伝える。
- 本書は行誠上人ゆかりの「不去来庵」蔵品を初めて公刊する。
- A 5判・上製本・貼箱入・各巻平均500頁
- 別巻のみ A 4判
- 各巻「解説」付・隔月刊行7回配本
- 分売不可 (別巻のみ可)
- 本書は予約制出版です。(価格税別・送料別)

- ご予約方法 …… 同封「予約ハガキ」に必要事項をご記入の上、ご投函下さい。(切手不要)
- お支払方法 …… 商品納品後の後払い。  
(局振替用紙・銀行振込)

〈編集〉 大正大学  
 福田行誠上人全集刊行会  
 〈事務局〉  
 浄土宗本誓寺 (福田行慈)  
 東京都江東区清澄 3-4-23  
 TEL03(3641)6804 FAX03(3643)8303

## 全巻構成

『第1回配本第1巻』  
 『平成21年6月刊行』  
 (以降、隔月刊行予定)

先人の業績を顕彰し、  
 向後の浄土学研究に  
 役立ちます!



※晩年の行誠上人  
 (写真提供/静岡不去来庵)

**第1巻** 〈解説…小澤憲珠・福田行慈〉  
 『著書篇・序辞篇』 定価 14,800円  
 (著書…7冊・序辞…82編)

**第2巻** 〈解説…柴田泰山〉  
 『論稿篇』 (30編) 定価 17,500円

**第3巻** 〈解説…小此木輝之・魚尾孝久〉  
 『法語法話篇・詩歌篇』 定価 17,500円  
 (法語法話…82編・詩歌…6編)

**第4巻** 〈解説…石川達也・福田行慈〉  
 『伝記篇・日記書簡篇』 定価 17,500円  
 (伝記…11編・日記書簡…61編)

**第5巻** 〈解説…石川達也〉  
 『行誠著述に対する評論他篇』 (13編)  
 定価 17,500円

**別巻1** 〈解説…渡邊 朗 (不去来庵主)〉  
 『行誠上人資料篇』 (不去来庵蔵)  
 (収録数…約200点) 定価 38,800円

**別巻2** 〈解説…福田行慈〉  
 『行誠上人遺墨集』 定価 38,800円  
 (収録数…約200点)

※定価については、変動が生じる恐れがあります。予めご了承下さい。

※遺墨を収集中です。所蔵されている方は事務局までご連絡いただければ幸いです。

〈発行・発売〉 仏敎図書出版  
**USS出版** (うしお書店新社)  
 〒175-0005 東京都豊島区南大塚 3-1-6  
 TEL 0120-482-471 FAX 0120-482-472  
 〈本社/配送管理部〉  
 〒945-0301 新潟県刈羽村入和田 217  
 TEL0257(48)2471 FAX0257(48)2472